

# 令和8年度 学校経営方針

令和8年4月1日  
京都市立音羽川小学校  
校長 阿部 正人

## ■学校教育目標

「向上心をもち、真面目にコツコツと仲間と共に高め合う子の育成」

## ■育成を目指す資質・能力

「対話力」・「思いやる心」

## ■めざす子ども像

「自他を大切にできる子」

## ■めざす学校像

「夢と希望に満ちあふれた活気ある学校」 ～ワクワクする学校～

## ■キーワード

「会話のキャッチボール」 （会話における相手を思いやった言葉のやり取り）

- ・自分の思い（ボール）を話すこと（スロー）からではなく、まずは相手の思いを受け止めること（キャッチ）から始める
- ・相手の思いをしっかりと受け止めると相手の自己肯定感が高まる
- ・相手の思いを受け止めようとする意識とは、すなわち人権意識である
- ・会話のキャッチボールを心掛けると人間関係形成力が育つ
- ・結果的に温かい空気が漂う学校になる

## ■めざす教職員像

「豊かな愛情と高い専門性で一人一人の子どもを大切にし、誠実に対応する教職員」

《校長として大切にしたいこと》

- ・地域と保護者と学校が一体となって子どもを育てる
- ・子どもや保護者の心に寄り添う丁寧な対応
- ・丁寧でスピーディーな事案対応（徹底した事実確認）
- ・いつも清潔で整頓された、すっきりとした学校（モノ、情報、教職員役割分担）
- ・子どもの手本であり、あこがれとなる教職員
- ・何事においても丁寧かつシンプルに素早く
- ・働き方改革推進と教職員の身心の健康と働き甲斐、そしてウェルビーイングの実現